

学校が休校となり、子どもの家庭学習について悩んでいる保護者も多いのではないのでしょうか。「個別指導キャンパス」では長年にわたる教育現場で培ったノウハウを生かし、子どものモチベーションを高めて成績アップ・志望校合格に導いています。代表の福盛訓之さんに、家庭学習の方法についてアドバイスを聞きしました。

新中学3年生 の心得

個別指導キャンパス 代表・福盛訓之さん

お問い合わせ先: (0120) 934830



「生徒一人一人に合わせたオーダーメイドカリキュラムを作成し、集中的に強化します」と話す福盛代表

「どつすれば、家庭学習を習慣づけることができますか」

家庭学習が続かない原因としては、理解できない内容を勉強しようとしていたり、最初から長い時間設定で勉強しようとしている所にあります。まずは、短時間でもいいので毎日机に向かうことが重要です。また、教材のレベルが子どもに合っていることも重要です。難しすぎると、保護者がつきつきりで教えないと解らなったり、質問さえもできなかつたりします。書いてあることがよくわからないと集中が途切れてしまい、タラタラと時間だけが過ぎてしまいます。

「学習内容についてアドバイスをお願いします」

何か特別なことをする必要はなく、まずは学校の授業の予習と復

習をするようにしていくだけでいい。どつしても時間が取れない場合は、復習を優先すると良いです。平成30年度の全国学力テストの結果でも、学校の復習を重視する子どもは学力が高いという結果がでています。

「家庭での学習は、保護者が見るべきなのでしょうか」

教科指導について塾に行っている場合は、塾の講師と子どもの間でかなり内容の濃いやりとりがありますので、保護者はメンタル面や普段から規則正しく生活するよううにサポートすることが大切です。また、子どもが学習をしている時は、その姿勢をほめてあげてほしいと思います。

「個別指導キャンパスでは、入塾してしばらくすると家庭でも学習できるよつになると評判です

が、どのような指導をしているのでしょうか」

生徒の現状や性格傾向などを分析することで、自信を持たせてモチベーションを上げる指導を可能としています。子どもの小さな変化や気になる兆候を見逃さず、声をかけをしたり、成長が見られた時にはほめたりするなど、全力でサポートをしています。さらに、各単元の理解度を把握した上で生徒一人一人に合わせた「オーダーメイドカリキュラム」を作成し、苦手な単元を丁寧に洗い出して集中的に強化します。その上、講師陣は勉強のやり方指導にも力を入れているので、「わかる楽しさ」を体験した子どもが自分から「コツコツと家庭でも学習できるよつ」になるのです。